

Cafe プレイエル & ギャラリー やましる 定例コンサート  
第50回 記念

初演

被爆70年に捧ぐ

長崎の鐘 平和コンサート  
辻 幹雄

11弦ギター祈りの調べと朗読

山田耕筰が果たせなかった「長崎の鐘」の音詩化。永井隆が遺した長編叙事詩「長崎の鐘」が戦後70年の今甦える。作曲家辻幹雄が11弦ギターの名器で初演。平和祈念の記念コンサート

2015年7月18日(土) 19日(日)  
午後2時 開演  
Cafe プレイエル 喫茶ホール  
3,500円 要予約 (両日とも30名様限定)  
お問合せ・お申込み  
TEL 0263-92-8158  
カフェプレイエル&ギャラリーやましる



program

- ・ 叙事詩「長崎の鐘」 永井隆 原作/辻 幹雄作曲  
朗読 古畑博子 音楽(11弦ギター) 辻 幹雄
- ・ 主よ人の望みの喜びよ J.S.バッハ  
(カンタータ 147番より)
- ・ 鳥の歌 カタロニア民謡
- ・ レクイエム/ 祈り/ 木もれ日の中で 辻 幹雄

同時企画 7月~

長崎と松本をつなぐ友情が生んだふたりの共同作品を資料とともに展示します。

「原子野の花」 版画展

永井 隆 (1908~1951) 原画  
加藤 大道 (1896~1965) 彫摺

辻 幹雄 プロフィール (11弦ギター)

- 1983年 日本初の11弦ギター奏者としての活動を始める。
- 1991年 ニューヨークのカーネギーホールでのサイタルで、国際的評価を受ける。アメリカ、ヨーロッパなどで活動を展開。
- 1994年 成田闘争終結に向け、空港建設反対住民、空港関係者らの協力の中で、「辻 幹雄が奏でる11弦ギターの調べ」を開催。和解を導く。コンサート会場になった空港南側の広場は曲にちなんで「風の歌広場」と命名される。
- 1995年 伊勢神宮で奉納演奏。以来、伊勢修養道場で18年連続コンサート。「音楽を心から心へ、魂から魂へ」を信念に全国隅々まで自ら音楽を届ける活動を続けている。
- 1996年 チェルノブイリ原発事故後10年、東欧・北欧で鎮魂のコンサートツアーを行う。モスクワ放送やベラルーシ共和国国営放送の特別番組に出演。同時に各音楽大学に招待され、コンサートを開催。
- 2007年 熊野本宮大社の新作神楽の作詩・作曲、プロデュースを行い、2008年より年次例大祭で毎年奉納される。CDは「風の標」「月光の森」「水鏡」「春のゆくへ」「天地轉生」「花音」「黎明」がリリースされている。CMの作曲・演奏は、JAI/バンク、NTTドコモ東海、「世界の車窓から」等。NHKラジオ「音楽夢倶楽部」の辻 幹雄 特集はラジオジャパンで世界同時放送された。

古畑博子 プロフィール (朗読)

2002年より『カフェプレイエル&ギャラリーやましる』を経営。薬膳カレーとコーヒー等を提供しながらピアノの名器プレイエル(1923年)とエラール(1909年)、吉岡弘司 製作 スピネット等を所蔵してのサロンコンサートを開催。地元版画家 加藤大道の顕彰につとめ、特に長崎ゆかりの「原子野の花」、相馬御風との「董心帖」を常設展示。著書「ピアニストの兵隊さん」他「版画社二代記〜加藤大道父子の軌跡〜」に寄稿 共に郷土出版社



おかげさまで 第50回 カフェプレイエル定例コンサート

## 初演《長崎の鐘 平和コンサート》に寄せて

妖雲 空をとざして 天日 くらみ

さながら 世の終りなり

やみ深きところ

生きとし 生けるもの いのち断たれぬ

つるぎを捨てよ ことごとく

いくさを棄てよ とことわに

平和をまもれ 地の極みまで

平和をまもれ 世々の末まで

永井隆博士が遺した 150行におよぶ未完の長編叙事詩《長崎の鐘》に、このたび、日本を代表する11弦ギターの作曲家であり、ギタリストの 辻 幹雄さんが、渾身の思いを込めて《朗読と11ギターによる「長崎の鐘」》を完成させました。

8月9日の原爆忌に先立ち、7月18(土)・19(日)、第50回カフェプレイエル定例コンサートの節目に、初演《長崎の鐘 平和コンサート》の第一歩を踏み出すこととなりました。

1945年、世界で初めて原子爆弾が投下された広島、長崎の惨状を目の当たりにした山田耕作は強烈な衝撃を受け、長詩《長崎の鐘》を歌劇か交響曲にする決意をします。しかし、1951年、骨髄性白血病の永井博士は43歳の若さで他界、山田耕作も病のため、又あまりの詩の奥深さに、ついに《長崎の鐘》は世に出ることはありませんでした。

奇しくも、山田耕作没後50年、永井博士没後64年、被爆70年、《長崎の鐘》のコンサートをここゆかりの場所で、初演のはこびとなりました。朗読(古畑博子 カフェプレイエル オーナー)と音楽 辻 幹雄の11弦ギターの名演奏で、永井博士・山田耕作おふたりへの献呈の思いを込めてお届け致します。今後、この平和の詩と音楽が広まり、人々の心が繋がり、永井博士が、《平和を》と、訴え続けた愛と人類平和の世界が築かれますように、そして祈ります。

カフェプレイエル&ギャラリーやましろ には、永井隆(原画)と加藤大道(彫・摺)合作版画「原子野の花」15作品が常設展示されていますが、事の始まりは、昨年9月、版画「原子野の花」の前で、辻さんと、冬のコンサート打合せをしていた時のこと、世に出ることのなかった幻の長編叙事詩《長崎の鐘》に話が及びました。以来、辻さんは、構想を温め、今年5月、完成した曲を携えてお見えになりました。その時のギターの響きが《長崎の鐘》の産声となったのです。 「なんじら 相愛せよ」 これぞ 永遠平和のおきて

人類よ おきてをまもれ

長詩「長崎の鐘」より

被爆70年、戦後70年を、単なる区切りとするのではなく、新たな平和の、出発の年にしたいものです。そして《長崎の鐘》が日本のすみずみに響き伝わっていきますように。

コンサートとともに、永井博士と加藤大道の友情の結晶である共作版画

「原子野の花」版画展 を併せて是非ご鑑賞ください。

2015年7月 古畑博子 記

# 原爆伝える曲 松本で創作

千葉のギタリスト長詩「長崎の鐘」から着想



「長詩『長崎の鐘』」の朗読に合わせる曲を作った辻さん＝千葉県船橋市

1945（昭和20）年8月9日の長崎への原爆投下から70年となるのを前に、千葉県船橋市のギタリスト辻幹雄さん（63）が、長崎市で被爆

## きょう初演 「戦争語り継ぐ材料に」

長崎医大（現長崎大）勤務だった永井は、研究で放射能を浴びて白血病になり、原爆

投下前に余命3年と診断を受けた。妻が原爆で亡くなり、自身は51年に幼い子ども2人を残して死去した。

作曲家の山田耕作（1886～1965年）がこの詩を基に歌劇の創作を考えたこともある。

演奏する土地の人に朗読してもらおうと考えて、初演では古畑さんが担当する。演奏は18日が午後2時と6時から、19日が午後2時から。同市波田の「カフェブレイエル&ギャラリーやましろ」で、3500円。問い合わせは同店（☎02663・92・81588）へ。

戦後70年 信州から

## 「平和」を問う

「長詩『長崎の鐘』」は被爆後に作った147行の詩。原爆の衝撃を「一閃／空裂け／再現す 天地開闢の光」と表現し、「平和をまもれ地の極みまで／平和をまもれ世々の未まで」と願いを込めた。長崎市永井隆記念館による

「長詩『長崎の鐘』」は被爆後に作った147行の詩。原爆の衝撃を「一閃／空裂け／再現す 天地開闢の光」と表現し、「平和をまもれ地の極みまで／平和をまもれ世々の未まで」と願いを込めた。長崎市永井隆記念館による

した放射線医師永井隆（1908～51年）の「長詩『長崎の鐘』」の朗読に合わせて演奏する曲を作った。被爆前後の街の様子や平和への思いをつづった詩で、「戦争を語り継ぐ材料として演奏を続けたい」と辻さん。この詩を初めて知った松本市で、18日に初演する。

神宮寺に滞在するなどして創作を進め、今年6月末に計5曲を完成させた。

辻さんは11弦ギターの奏者としても知られ、米ニューヨークのカーネギーホールでリサイタルを開いた経験もある。「戦争が人の暮らしに及ぼす影響を音楽で伝えることが、演奏を仕事にする自分の役目」と言い、「長詩『長崎の鐘』」の演奏をライヴワークにするという。

TSUJI MIKIO GUITAR CONCERT

長崎の鐘 …平和コンサート

I. 組曲「春のゆくへ」 辻 幹雄

春のゆくへ  
白鳥の歌  
海のあはひ  
望郷の歌

主よ人の望みの喜びよ JS バッハ

鳥の歌 カタロニア民謡

休憩 15分

II. 「長崎の鐘」(初演) 永井 隆 原作  
辻 幹雄 作曲

朗読 古畑 博子  
11弦ギター 辻 幹雄

レクイエム 辻 幹雄

祈り ”

2015.7/18, 7/19 プレイエル